

1 研修事業名	令和元年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。</li> <li>・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。</li> <li>・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。</li> <li>・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。</li> <li>・客観的な事実が正しく伝わる記録の書き方を学び、円滑な情報共有を図れるようになる。</li> </ul>
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 42名

5 科目名	サービス提供責任者の役割と望まれる姿勢
6 講義担当者名	柴田範子（NPO 法人 楽 代表）
7 講義の日程	2019年10月3日（木曜日）10：00～12：00
8 時間数	2時間
9 講義の方法	講義
10 科目のねらい	サービス提供責任者の役割を再確認し、どのような知識や技術をもって任務にあたるかを考える。
11 科目の内容	・サービス提供責任者の業務内容と業務のポイントの確認とタイムマネジメント 等
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 事前課題等（レポート）	なし
14 使用機材	未定
15 備考	未定

1 研修事業名	令和元年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。</li> <li>・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。</li> <li>・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。</li> <li>・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。</li> <li>・客観的な事実が正しく伝わる記録の書き方を学び、円滑な情報共有を図れるようになる。</li> </ul>
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方

5 科目名	訪問介護計画の基本的視点
6 講義担当者名	柴田 範子 (NPO 法人 楽代表)
7 講義の日程	2019年10月3日(木曜日) 13:00~16:00
8 時間数	3時間
9 講義の方法	講義
10 科目のねらい	居宅サービス計画をどのように訪問介護計画に落とし込むか。そしてその計画書に基づき、訪問介護員が利用者支援の実質を担うことができるか。多角的な視点から、訪問介護計画の重要性を学ぶ。
12 科目の内容	介護支援専門員から提供される計画書と訪問介護計画の位置づけを理解し、訪問介護が利用者の生活支援にどうかかわるかを吟味する。
13 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
14 事前課題等(レポート)	受講者が担当するケースの訪問介護計画書、アセスメントシート、ヘルパー指示書 ※詳細は受講決定通知書に同封されている用紙で確認ください
15 使用機材	未定
16 備考	未定

1 研修事業名	令和元年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。</li> <li>・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。</li> <li>・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。</li> <li>・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。</li> <li>・客観的な事実が正しく伝わる記録の書き方を学び、円滑な情報共有を図れるようになる。</li> </ul>
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 42名

5 科目名	訪問介護計画作成演習①②
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO法人 楽代表）
7 講義の日程	2019 年 10 月 16 日（水曜日） 10:00～16:00 10 月 28 日（月曜日） 10:00～16:00
8 時間数	10 時間（休憩時間各日 1 時間除く）
9 講義の方法	講義、演習
10 科目のねらい	居宅サービス計画の方針から、個別の支援計画として訪問介護計画を作成する際に重視すべき視点（アセスメントポイント、ニーズ把握）をもとに、事例を通して作成演習を行う。さらに、これを現場に反映できるよう、実際のケース事例を用いて作成し、計画の妥当性についてグループメンバーと多角的に検討する。
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントについて精通する</li> <li>・訪問介護計画作成において重視すべき視点を確認する</li> <li>・わかりやすく、伝わりやすい訪問介護計画作成方法を習得する</li> </ul>
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ（必要に応じ資料を活用）
13 事前課題等(レポート)	未定
14 使用機材	なし
15 備考	なし

1 研修事業名	令和元年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。</li> <li>・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。</li> <li>・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。</li> <li>・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。</li> <li>・客観的な事実が正しく伝わる記録の書き方を学び、円滑な情報共有を図れるようになる。</li> </ul>
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 42名

5 科目名	サービス提供責任者の指導業務について
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO法人 楽代表）
7 講義の日程	2019年11月15日（金曜日） 10:00～10:30
8 時間数	0.5時間
9 講義の方法	講義、演習
10 科目のねらい	・訪問介護計画の目標達成に向けて、訪問介護員に何をどう伝えるか。グループメンバーと、日頃行っている訪問介護員の指導育成内容について知恵や工夫を分かち合い、自事業所での方法を検討する。
11 科目の内容	・各事業所が行っている訪問介護員の育成指導内容について ・各受講者が日常で意識している訪問介護員への声かけ等について全体で共有し、自事業所の方法を検討する。
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 事前課題等(レポート)	未定
14 使用機材	未定
15 備考	未定

1 研修事業名	令和元年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。</li> <li>・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。</li> <li>・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。</li> <li>・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。</li> <li>・客観的な事実が正しく伝わる記録の書き方を学び、円滑な情報共有を図れるようになる。</li> </ul>
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 42名

5 科目名	正確に事実が伝わる記録の書き方
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO法人 楽代表）
7 講義の日程	2019年11月15日（金曜日） 10:30～13:30
8 時間数	2時間（休憩時間1時間除く）
9 講義の方法	講義、演習
10 科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録は訪問した本日の利用者の状態を事実に基づいて客観的に表現できる。</li> <li>・訪問介護計画の短期目標に達成するために、根拠をもって行ったサービス内容を具体的に簡潔に書面に残すことができる。</li> <li>・記録を読み返した際、利用者の変化が読み取れる文面を書くことができる。</li> </ul>
11 科目の内容	<p>訪問介護員が訪問する事例から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5W1Hを意識した記録を書いてみる。</li> <li>・事実に基づいた記録の一つとして、利用者との会話を活用して残してみる。</li> <li>・専門用語、数値化する必要がある事柄の共有化を図ってみる。</li> </ul>
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 事前課題等(レポート)	業務に関するアンケート※詳細は受講決定通知書に同封されている用紙で確認ください
14 使用機材	未定
15 備考	書籍等の紹介

1 研修事業名	令和元年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。</li> <li>・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。</li> <li>・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。</li> <li>・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。</li> <li>・客観的な事実が正しく伝わる記録の書き方を学び、円滑な情報共有を図れるようになる</li> </ul>
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 42名

5 科目名	介護支援専門員との連携ポイント/総括
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO法人 楽代表） 松川 竜也（一般社団法人 神奈川県介護支援専門員協会副理事長）
7 講義の日程	2019年11月15日（金曜日） 13:30～16:00
8 時間数	2.5時間
9 講義の方法	講義、フロアディスカッション、演習
10 科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援計画がどのような視点でつくられているかを学び、訪問介護計画作成との相違点を考える。そのうえで、介護支援専門員との連携方法について検討する。</li> <li>・研修終了後の自身の成長目標を明確にし、メンバーとわかちあう。</li> </ul>
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員の役割と、居宅介護支援計画（ケアプラン）を作成する際に重視すべき要素・視点を学ぶ。</li> <li>・居宅介護支援計画と訪問介護計画のズレが生じた場合の、プランの擦り合わせをどのように行っていくべきか、検討する。</li> <li>・研修終了後の、自身の成長目標を明確にする。</li> </ul>
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 前課題等(レポート)	未定
14 使用機材	未定
15 備考	未定

